※令和４年度以降入学生用

学校番号	412

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	山川出版社　歴史総合 近代から現代へ						
副教材等	浜島書店　新詳 歴史総合						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「過去」を調べ、「現代」と比べ、「将来」を考える学問と捉える。
・因果関係によって歴史的事象はつながっており、歴史を流れの中で捉える。
・考古資料・文献資料・絵画資料等様々な史料から過去を読み解く。
・世界史と日本史を一体的に学ぶため、授業後の復習に力を入れてほしい。

２　学習の到達目標

・世界とその中における日本を広く相互的な視点からとらえて、近現代の歴史をとらえる。
・歴史の大きな転換点に着目し、問いを重視し、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。
・歴史の変化や推移に注目し、現代的な諸課題の解決に資するような能力を身に着ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近世中期から現代に至る歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	各時代の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近世中期から現代に至る歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、歴史的な思考力を育み、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養おうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部	第１章 結びつく世界 1アジア地域の繁栄と日本 2ヨーロッパの海外進出 3 近代化への問い 第２章 近代欧米世界 1産業革命と市民革命 2 19 世紀の欧米 3 アジアの変容 4 中国と日本	a: 江戸幕藩体制の安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化を理解し、その知識を身に付けている。 b: 明清、ルネサンス以降の近代ヨーロッパ、アメリカ独立革命、フランス革命について、設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 c: 近代世界の展開についての問いに対して意欲的にグループ活動等に取り組み、諸課題を解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価
		第３章 明治維新と世界 1 明治維新と諸改革 2 明治初期の対外関係 第４章 帝国主義とアジア 1 条約改正と日清戦争 2 帝国主義と列強の進出 3 日露戦争と世界	a: 幕末から明治への近代化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に理解している。 b:欧米やアジア諸地域の歴史について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 欧米やアジア諸地域の資料や地図を適切に活用して、諸課題について解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第Ⅱ Ⅲ部	第５章 国際秩序の変化 1世界大戦とロシア革命 2 国際平和と安全保障 3 民族運動の高揚 4 大衆消費社会の到来 5 社会運動の進展 第６章 第２次世界大戦 1世界恐慌の発生 2 ファシズムの台頭 3 日本の恐慌と満州事変 4 日中戦争と国内外動向 5 第２次世界大戦	a:2度の世界大戦前後における各国の動向や政策について関連付けて理解している。 b:諸資料をもとに、国際秩序の変化や大衆化の進展などについて考察し、表現している。 c: 習得した知識をもとに、国際間家の緊密化や、植民地の独立、大衆の登場などの危機の時代について考察し、現代からの視点も交えて諸課題を考察し、解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価
		第８章 冷戦と世界経済 1 集団防衛体制と核開発 2 米ソ両大国と平和共存 3 西欧の経済復興 4 第三世界の連携と試練 5 55年体制の成立 6 日本の高度経済成長	a:冷戦開始から日本独立までの通史を世界の中の日本という視点から理解している。 b: 諸資料をもとに、国際秩序の再構築や世界経済の動向について考察し、表現している。 c: 習得した知識をもとに、国際秩序の変化や大衆化の進展などを現代につながる諸課題と比較して主体的に考察し、解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	第Ⅲ部	7 核軍拡から軍縮へ 8 冷戦構造のゆらぎ 9 世界経済の転換 10 アジアの経済発展 第 9 章 グローバル化世界 1冷戦終結と国際情勢 2 ソ連崩壊とグローバル化 3 独裁政権の動揺 4 地域紛争の激化 5 国際社会のなかの日本 第 10 章 現代の課題 1 現代世界の諸課題 2 現代日本の諸課題	a:冷戦の経過について体系的に理解し、国際秩序の再編や世界経済の変化などについて理解している。 b:習得した歴史事象を現代の国際情勢と比較し考察し、自分の言葉でまとめて表現することができる。 c: 冷戦と国際関係、高度情報化、環境問題と開発など現代の諸課題を自分事としてとらえ、主体的に考察し、解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度